

# 支援部だより

No. 9

令和8年 1月26日

宮城県立金成支援学校  
支 援 部

## 居住地校学習の実施、 アンケートの回答、 御協力ありがとうございました

宮城県の「居住地校学習推進事業」を受け実施した居住地校学習では、様々な御配慮を頂きありがとうございました。本校では「自分が生活する地域の同年代の友達と一緒に活動することに慣れ、地域生活の基盤を作る」というねらいの下、取り組んで参りました。本年度は、同年代の友達と関わる経験の少ない本校の児童生徒たちが直接交流を行い、居住地校の皆さんとともに学ぶことができる貴重な機会を得ることができました。心より感謝申し上げます。

居住地校学習のアンケート結果についてまとめましたので、お知らせします。この貴重な御意見を今後の取組に役立てていきたいと思います。

名 称:「居住地校学習アンケート」回収率87%

対 象:令和7年度実施校担当者(小学校6校、中学校3校)(本校小・中学部)

実施回数:小学部9回、中学部5回

本校参加児童生徒数:小学部9人、中学部6人

### Q1 本年度、どのような活動をしましたか？

○受入校:生活単元学習、教科、総合的な学習の時間

○本 校:生活単元学習、遊びの指導、生活単元学習・遊びの指導、特別活動

### Q2 児童・生徒の様子はいかがでしたか？

○受入校

・お互いに楽しそうに声を掛けている。(小)

・友達と会えて喜んでいた。(小)

・最初は緊張した様子でしたが、活動を通じて打ち解けることができ、楽しい時間を過ごすことができた様子でした。(小)

- ・普段から交流がある児童がいたため、前々から楽しみにしていた。昨年度も交流していたこともあり、安心感を持って活動に取り組むことができた。また、次年度を楽しみにしていた。(小)
  - ・何度も一緒に活動を行っているので、楽しみに活動することができた。休み時間には一緒にカルタをして遊ぶなど、子供同士の交流が見られた。(小)
  - ・とても楽しかったようで、また早く来てほしいと喜んでいた。(小)
  - ・同じ小学校だった生徒たちは再会の喜びを感じていたようであつた。小学校卒業以来の再会やともに活動をすることことができたことを、喜んでいた。(中)
  - ・楽しんでもらおうと頑張っていたと思う。楽しかったと話していた。(中)
  - ・放課後等デイサービスを利用している子は「いつも一緒にやっているよ。」と教えてくれ、当日も優しく接していた。(中)
- 本校
- ・本校と違う集団と親しみ、楽しく活動することができた。(小)
  - ・昨年度は教室に入れなかつたが、今年度は自分で自己紹介をしたり、パラバルーンや風船を使った遊びをしたりして楽しく交流することができた。(小)
  - ・居住地校学習を楽しみにしていた。当日も楽しんで取り組んでいたと思う。(小)
  - ・知っている友達と活動できることができた。(小)
  - ・慣れない環境で緊張した様子が見られたが、温かい出迎えなどで次第に笑顔が見られるようになった(中)
  - ・始まる前はどきどきしている様子が見られたが、積極的にコミュニケーションを取ろうとするなど、終始楽しそうに笑顔で活動に参加することができた。(中)

### Q3 実施して感じたことや今後の課題は何ですか？

- ・9月のときは支援学校の先生に普段取り組んでいる遊びを紹介してもらい、一緒に楽しむことができた。(小)
- ・全員が活動しやすい内容だったと思います。(小)
- ・ボッチャ、ボウリングといった誰でも簡単に取り組め、結果も目に見えて分かる活動だったので、生徒たちにとって良かったと思います。(中)
- ・今年度は2回行ったが、もっと行ってもよいという意見もあった。(小)
- ・もっと回数が多くても、子供たちが喜びそうではあると思いました。(小)
- ・相手方の学校行事等もあるので、1~2回が妥当かと思います。(中)
- ・体を使って汗をかく活動であれば、もう少し涼しい時期の方がよいかな?とも思いました。(小)
- ・5月上旬くらいに連絡を頂ければと思います。(中)
- ・行事等で慌ただしい時期だったため、11~2月くらいの方が良かったかもしれません。(中)
- ・実施の目的やねらいが周知されていない。まずは実施について教員の理解が必要。  
←頂いた資料を基に周知できるようにしていきます。(小、中)

- ・支援級との交流は問題もないと思います。将来(今)、同じ地域で生活する通常級の子たち(特に同学年)にも見知っていてほしいという願いもあります。前回、校内を見学した際に教室の子たちに声を掛けながら歩いた程度でしたが、他に何かできないか、と考えます。(小)
- ・通常学級の児童との交流もあってよいのではないかと感じた。(小)
- ・金成支援学校で普段活動している内容を教えていただくこともよかったです。(小)
- ・事前にもう少し情報交換を行えばスムーズだったかと思いました。(中)

### 本校保護者の感想など

- ・子供たちが楽しそうに触れ合う様子を見て、保護者も良好な反応であった。
- ・落ち着いて活動に参加する様子を見て、安心しているようだった。
- ・昨年教室に入れなかったということもあり心配していたが、仲良く交流する様子を見て、ほっとしていた。
- ・楽しく過ごしたことを本人から聞いて、本人の成長につながっていると感じていた。
- ・迎えの際に活動の様子を話したり、本人から活動の様子を聞いたりして安心していた。
- ・送迎は大変そうに見えたが、活動後の本人の話などから、活動内容に対して肯定的に受け止めていただいだようだ。

本年度は、希望者の全員が直接交流を行い、12月中旬までに居住地校学習を終えることができました。特に、本校に転学したり、地元の学校から入学したりした児童生徒にとっては、久しぶりの友達との再会で、笑顔で活動することができました。子供たちは将来、地域で生活します。この事業をきっかけとして同年代の子供たちや、それを取り巻く大人たちとのつながり、地域に根ざした基盤作りをさせていただくことで、全ての子供たちのより良い将来につながっていくと思われますので、今後とも御協力をよろしくお願ひいたします。